

対象年度	令和 4年度	総合計画実施計画策定及び行政評価シート
------	--------	----------------------------

事務事業名	観光振興事業					予算事業名	観光振興事業費				
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令			
			07	01	05	1101					

総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 地域資源を活用したにぎわいと交流の促進 地域資源を活用した観光の振興						事業の区分	主要事業				
								重点事業				
							担当課係等	商工観光課 観光係				

事業期間	継続 (年度～ 年度)										
------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】	【事業開始のきっかけや他市の状況など】
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源及び広域観光を活用した観光振興を図る。 ・訪日外国人を含む観光誘客の推進及び観光振興による地域活性化を図る。 ・市内事業者の観光事業への取り組み強化を図ることにより、観光振興と地域活性化の相乗効果を目指す。 	観光協会への支援を行う一方で基盤整備は自治体が担っているのが一般的である。また、近年においては、広域連携による観光振興も推奨されており、これに取り組む自治体も多い。

【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】	【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を網羅した観光パンフレット等を配布し、観光誘客のアイテムとして活用する。 ・地域資源の発掘・磨き上げを行う。 ・観光物産センターを充実させ販売を促進する。 ・姉妹都市などの関係都市のイベントのほか、シティプロモーション事業(産直市)に参加し、市のPR活動を実施する。 	訪日外国人を含む観光客、市内商業観光事業者
	【事業をとりまく環境の変化】
	交流人口の増加や地域経済の活性化を図るための手段として「観光振興」が求められているほか、東京五輪の開催などを踏まえ、訪日外国人旅行者への対応も急務となっている。また、携帯端末の普及により、紙媒体からインターネットを最大限に活用した電子媒体での情報発信が主流となっており、これに関する基盤整備も喫緊の課題である。

【令和 4年度 事業内容】	【令和 5年度 事業内容】	【令和 6年度 事業内容】
商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光協会実施事業の検討 ・区画整理地内案内板撤去 ・市町村境案内板撤去	商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ改訂作業 ・観光協会実施事業の検討 ・市町村境案内板撤去	商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光協会実施事業の検討 ・市町村境案内板撤去

■事業費

		R02年度	R03年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	6,847	11,318			
歳入計 (千円)		6,847	11,318			
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	07 報償費	160	264			
	08 旅費	0	282			
	10 需用費	936	1,735			
	11 役務費	0	30			
	13 使用料及び賃借料	550	736			
	18 負担金補助及び交付金	5,201	8,271			
	歳出計 (千円) (A)	6,847	11,318			
伸び率 (%)		65.29				

備考						
----	--	--	--	--	--	--

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	観光物産センター来館者数	人	目標	10,000.00	10,000.00	12,000.00
			実績	4,202.00	0.00	0.00
	伝統工芸館来館者数	人	目標	0.00	800.00	1,000.00
			実績	491.00	0.00	0.00
成果 指標	協会実施イベントの精査・調整	実施	目標	0.00	0.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	観光入込客数	人	目標	0.00	560,000.00	600,000.00
			実績	320,200.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	観光情報発信の観点から必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	基本的なソフト事業や観光インフラの整備は行政が担うべきである。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	正解がある事業ではないため、現在の資源を活用し推進可能な事業を行っていく。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	商業観光振興計画に基づき効率的に事業を進めるよう努める。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	直接的には観光客に資する事業であるが、関連事業者、税収の伸びにより市民の益となり得る。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	観光客は微増していたが、コロナ禍により一服感が漂う。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	成果指標に記載した協会実施イベントの精査はこれから行っていく。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事業中大きなウェイトを占めるのは協会への補助金であるため、協会主催のイベントを精査し、盛り上げていくことが市内の観光振興につながることから、協会とともに実効性あるイベントの実施を計画し実施に努める。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
商業観光振興計画に掲げられた「稼げる観光」の実現に向けて、種々の改善に取り組む。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置 </p> <p>方向性の具体的内容 商業観光振興計画に掲げる稼げる観光を実現するためには、思い切った改革と取り組みが必要である。現行の行政主体の観光から市民が主体となる観光へのシフトが必要である。そのためにも新たな観光資源の開発と人材育成、組織化を進める。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置 </p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。</p>